

追悼のことば

本日ここに、第97回千葉大学医学部解剖慰霊祭を挙げるに当たり、謹んで諸霊位に哀悼の意を表すと共に、感謝の念を捧げます。

顧みますと、今日の科学の進歩は目ざましいものがあり、我国の医学も、世界的水準を保持するに至っておりますが、医学の目的とするところは不変であって、疾病の成因を明らかにし、その予防と治療に応用し、もって人類の健康増進をはかることにあります。

このような現代医学の急速な進展の間にあっても、医学研鑽の基盤としての人体解剖は、人体そのものの構造を知り、その機能を理解するための、かけがえのない手段として重視され続けております。

また、不幸にして疾病に倒れ、他界された方々につき行われる病理解剖は、病変の拡がりや病態を明らかにすることによって、より適切な診断と治療への道を開きます。

私たちが、この尊厳なる御遺体に常に限り無い畏敬の念を捧げます所以はここに存するのであります。

本日ここに慰霊申し上げます106名の霊位、ならびにその御遺族の方々は、医学における、かかる人体解剖の重要性に対する深い御理解のもとに、因習に捉われることなく、敢然と御遺体を捧げられました。

この崇高なる御行為に対し、ここに衷心より、感謝申し上げる次第であります。

本医学部は、このことによりさらに研鑽の歩を進め、人類社会の福祉に貢献し、もって諸霊位と御遺族のお志にお応えすべく、努力を重ねてまいる所存でございます。

ここに御遺族並びにご来賓各位の御参列のもとに、厳粛に式典を営み、諸霊位をお慰め申し、追慕の念を新にして、弔意の誠を捧げたいと存じます。

在天の諸霊位には、私どもの意をご照覧下され、安らかに永遠の眠りにつかれますことを心より祈願申し上げます。

令和6年6月8日

千葉大学医学部

第97回解剖慰霊祭祭式委員長 三木隆司